

チャレンジ支援委員会「おせっかい侍の発表応募支援 STEP 2」報告書

チャレンジ支援委員：天野、大平、黒田、鈴木、濱田、家根橋、吉川

2021年11月14日 13:00-15:00 オンライン開催

「セミナー・個別相談-初めて実践を発信しようと思った人への指南-」

2021年度第2回「おせっかい侍の発表応募支援 STEP 2: セミナー・個別相談」は、大会や支部集会で初めての発表を目指している方を主な対象として開催されました。国内外の日本語学校・大学の教員から大学院生まで、様々なお立場にある7名の方にご参加いただきました。各々の実践現場における発表のタネを持ち寄り、発表に結びつけるための道筋を検討しました。

「第1部:実際に採択された応募書類の実例を見ながら、書き方のポイントを学ぼう」では、先回に引き続き、チャレンジ支援委員の鈴木秀明さん(目白大学)と家根橋伸子さん(東亜大学)にご自身の応募書類をご披露いただき、申込時に考えていたことや感じていたこととお話いただきました。毎日の実践の中から気になるテーマを見つけ、言語化し、同僚と議論することの大切さと共に、応募書類に盛り込むべき内容を簡潔にまとめるコツをご紹介くださいました。また、学会による「発表応募と審査のための共通チェックリスト」の活用方法も取り上げていただきました。さらに、発表を通じて得られた手応えや自信、研究仲間などについて体験談をお話くださいました。



「第2部:チャレンジ支援委員に自分の発表したい内容について何でも相談してみよう」では、委員1名と参加者1~2名からなる5グループに分かれ、それぞれの参加者の発表に向けた計画や実践の構想について話し合いました。すでに発表用の資料が完成している方から、関心のある授業や教材を設計していきたいという方まで、さまざまなお話を伺うことができました。大学院を修了してから研究について話し合う機会が減ってしまっていた方にとっては、よい議論の場となったようです。参加者それぞれの進捗状況に応じて、発表の実現に向けた「次の一歩」を確認することができました。

参加者による事後アンケートでは、概ね「満足できた」「役に立った」「時間配分はちょうどよい」といった肯定的な回答をいただきました。「勇気をもらえた」「研究を続ける意欲が湧いた」「情報がたくさん得られた」といったコメントもありました。引き続き、「STEP 3: 発表応募原稿チェック」はもちろん、秋季大会の「わかばさんいらっしゃい」や「ぷらさ da わかば」などを通じて、参加者の皆さんが初めての発表に近づけるよう応援していきます。

